

# 地域ぐるみで子どもを育む学校支援活動の推進

～「地域協育ネット」（厚陽学校応援団）の取組～【山陽小野田市 厚陽中学校区】

## 地域の概要

厚陽中学校区は、山陽小野田市の南西部に位置し、東は厚狭川、南は瀬戸内海周防灘に面しています。厚狭毛利氏の開作事業によって広く農業が行われています。平成24年度から、厚陽小学校と厚陽中学校が施設一体型小中連携教育校となりました。

人口	2,137人	
世帯数	983世帯	
対象校及び 児童生徒数	厚陽中学校	47人
	厚陽小学校	95人

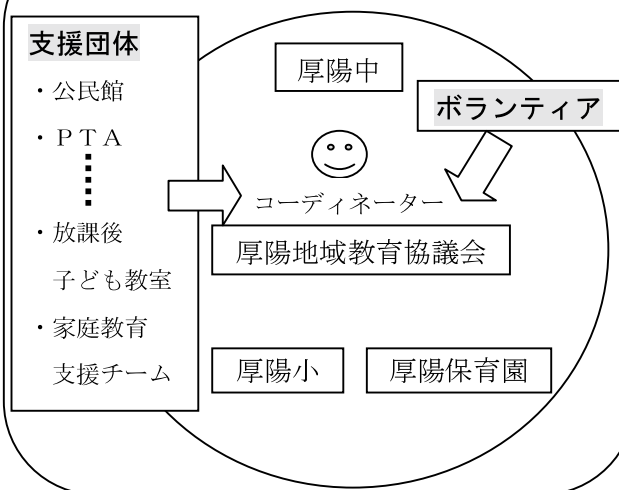
## 組織の内容

厚陽中学校区では、平成20年度から厚陽学校支援地域本部「厚陽学校応援団」を設置し、早くから学校支援活動に取り組んでいます。地域教育協議会は、学校関係者をはじめ、ふるさとづくり協議会や自治会協議会、地区社会福祉協議会、母子保健推進協議会、食生活改善推進協議会等の地域団体関係者、公民館、PTAや学校評議員で構成されています。

活動内容は、月1回開催される地域教育協議会関係者による会議の中で毎回話し合わせ、学校や地域のニーズに応じた支援活動が行われています。

また、平成20年度から継続して取り組んでいる「厚陽あそび隊」（放課後子ども教室）や家庭教育支援チームによる「子育て講座」、厚陽保育園での教育支援活動等、15年間の子どもの育ちや学びを地域ぐるみで支援する「地域協育ネット」の推進を図っています。

### 厚陽中学校区 地域協育ネット



厚陽地域 教育協議会 の構成	学校関係者	4人
	地域団体関係者等	11人
	PTA関係者	8人
	学校評議員	1人
コーディネーター数	1人	
登録ボランティア数	114人	

## 特色・重点的な取組

厚陽学校応援団では、学校・家庭・地域による協働の取組を進めています。厚陽地区運動会では、競技への参加だけでなく、競技運営係の一員として中学生が運動会の運営に参加し、地区行事の活性化に一役買いました。



運営委員として活躍する中学生



活躍する中学生の姿は園児のあこがれです

## 主な活動の紹介



中学生による読み聞かせ



地域の方による図書修理



カニ汁づくりで地域を学ぶ



ともに汗を流すことで絆きずなが深まる



学校・PTA・地域による熟議



地域の文化祭で伝統芸能を披露

施設一体型小中連携教育校となり4年目の今年も、多くの活動が行われました。従来の学校支援活動である読み聞かせ、図書の本の整理や修理、音楽・家庭科等の指導、交通安全指導、学校行事支援等、引き続き地域ぐるみで行っています。調理実習では、地域の特産「ワタリガニ」を食材としたカニ汁づくりを漁協婦人部の方に指導していただきました。生徒は地域の食材を通して、地域を知り、その良さを感じたようでした。また、今年も「厚陽地区緑と花の推進活動」に中学生が参加しました。市全体に配布する花の苗づくりを通して、中学生がまちづくりに参画することができました。「厚陽ふれあい文化祭」では、「吉部田太鼓」の演奏を中学生が行い、地域の伝統芸能にふれる良い機会になりました。この他、地区懇談会では、学校・PTA・地域の方が一堂に会し、「児童生徒の安全・安心」をテーマとした熟議を行いました。熟議により得られた成果を関係者で共有し、安全・安心な学校づくり・地域づくりに生かしていくことはもちろんのこと、今後もこのような話合いを通して地域の絆きずなを深めることにつなげていきます。

## 成果と課題

公民館で毎月定期開催される「地域教育協議会」や「地域協育ネット情報紙 厚陽っ子だより」の発行により、関係者間の情報共有が進み、より良い支援体制の構築につながっています。何より、児童生徒、教職員、保護者の心の中に「地域の学校」という意識の高まりが感じられるようになったことが大きな成果です。今後は位置的にも近い保育所・小学校・中学校を横断する取組を、学校と地域が企画することを通して、より地域の輪を広げていきたいと考えています。

## 今後の取組

厚陽地区には、地域教育協議会が早くから立ち上がり、協議会を中心に「地域ぐるみの学校支援」が長く行われてきたという歴史があります。今後は、これまでの支援活動を継続するとともに、より良いものに改善していくことが求められます。「学校支援と地域貢献」を合言葉に、今後も学校・家庭・地域による協働を行っていきます。